

ガバナー補佐
水野一保 様
(清水中央RC)

第2620地区 静岡第4分区ガバナー補佐挨拶



皆さんこんばんは。静岡第4分区07～08年度ガバナー補佐を仰せつかりました、清水中央RCの水野一保です。道部ガバナーのもとでの1年間奉仕活動を通し皆様とロータリーの友情が深められたらと思っております。



さて、07～08年度のRI会長ウィルフリッドJ.ウィルキンソン氏は「ロータリーは分かちあいの心」が大切であると言っております。ロータリアンは世界中の社会的な問題、或いは人道的な問題に対応するために、自らの時間や才能、専門知識、資金を「分かち合っ」ています。また、思いやりと熱意を「分かち合い」、恵まれない人々を助け、より良い世界を築こうという決意を「分かち合っ」ています。さらにはロータリーを世界で一番大きな奉仕団体へと発展させた比類なき奉仕への情熱を「分かち合っ」ています。

世界168カ国、クラブ総数32,681、会員総数1,204,694人(2006年12月31日/RI公式発表)の政治も、思想も哲学も違い、信仰も違う世界各国の120万人のロータリアンの中で共通するものがあるとするならば、それは「分かちあいの精神」であると述べ、ロータリーの真髄は愛であり、クラブ奉仕を通じて、職業奉仕を通じて、国際奉仕を通じて、青少年奉仕を通じて愛を「分かち合う」ことでもあります。ロータリーRI会長は「分かちあいの心」、「ROTARY SHARHS」であると感動的に話されています。

このようにロータリアンの多くは寛大な精神を持っています。「ロータリーは分かちあいの心」このテーマがロータリアンの活動の原動力となっております。

そしてRI会長は「分かち合い」と言う大勢による偉業を推進することを連想されるかも知れませんが、それは一個人による行為であり、個人的な選択でもあります。私達の一人ひとりがどれだけの時間とエネルギーをロータリーに捧げているかを定める訳ですが、その決意がやがては、各クラブが地元や海外の地域社会にどれだけ「分かち合う」ことができるかを決定づけるのです。ですからこれまで以上にロータリーと個人的に関わり、奉仕プロジェクトと会員増強の内面から積極的に参加して下さいようお願いいたします。継続性はロータリーの成功には欠かせない要素ですから、保健、識字率向上、水保全、ロータリー家族が引き続き今年度のテーマであります。

そして最近では、ロータリーへの加盟クラブの数が減り始めています。更に会員数が減少してきています。それはすべてのロータリアンが新会員を連れてくる責務を「分かち合わなければ」なりません。会員を増やすことによって積極的にプロジェクトに取り組み、地球上の隅々にまで平和という大儀を推し進めロータリーは発展していかねばなりません。

道部ガバナーの地区方針として一番目に「会員増強」をあげています。

調べたところ、今年度2620地区は3,600人で、地区予算8,000万円。10年前(1997)は4,620人、地区予算は9,243万円で、約1,000名の会員と1,200万円の予算が10年間で減少しています。

会員の減少に伴い、会員の年会費(地区活性化助成金)2,000円だったものが、今期より2,500円となりました。静岡中央RCは会員数54名で地区の中でも多い方だと思います。会員数が減ると、クラブの運営が厳しくなります。

会員増強、会員の維持に力を入れていただきたいと思っております。

一年間、ご協力お願いいたします。

出席報告 渡会委員長

	月/日	出席計算 会員数	出席者	欠席者	出席率	メイク アップ	確 定 出席率
前々回	7/2	47名	36名	11名	—	2名	80.8%
前 回	7/9	47名	39名	8名	—	(2名)	—
本 日	7/23	47名	35名	12名	78.2%	(名)	—